



国際ロータリー第2680地区

Rotary
加古川ロータリークラブ



Weekly Reports 2024-2025

2024-25年度 RI会長:ステファニー・A. アーチック/地区ガバナー:矢坂 誠徳
加古川ロータリークラブ会長:大庫 隆夫 / 幹事:山本 亜也夫
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和7年4月8日(火) No. 35



▲会長挨拶



▲地区より
高田会員に委嘱状



▲浅井会員退会挨拶



▲穴田会員卓話



▲誕生日祝



▲結婚記念日祝

会長の時間

会長 大庫 隆夫

第三十二回 ラーマ四世、五世親子の苦闘 西洋教育を受けた開明派親子

タイ王国チャクリ朝(現王朝バンコック朝、ラタナコーシン朝)第四代ラーマ四世モンクット王の治世一八五一〜一八六八年、その子ラーマ五世チュラロンコーン大王の治世一八六八〜一九一〇年は、欧米列強がアジア各国を植民地化せんものと牙を剥いていた時代であります。ラーマ四世と五世親子の奮闘努力によりタイは欧米の植民地化を免れ独立を保ち得たことをご存知でしょうか。

ラーマ四世は植民地化を防ぐため、西洋へ門戸を開きました。幕末維新時代の日本の時代様相です。ラーマ四世は一八五四年清国への朝貢を止め、清国冊封下を脱し、一八五五年イギリスと通商貿易に関する条約を締結、西洋と自由貿易を開始し、米を輸出するようにしました。西洋との関係を重視し、英国からアンナ夫人を家庭教師に招き入れ、子弟に西洋の教育を受けさせました。このときのことは小説「アンナとシャム王」に書かれていて、後にユルブリナーが演じた映画「王様と私」になりました。この開明的な教育がチュラロンコーン大王を名君としたのです。



ラーマ五世チュラロンコーン大王は王権と国力を高めるため、近代化政策であるチャクリ改革を行いました。西洋を手本に国内の交通・通信を整え、中央政権支配の基礎を整えました。タイ領からラオス、カンボジア南部の一部が仏英の植民地として奪われましたが、残った領土を死守するため、タイを中央集権国家にすることを決め、各地の王を廃止し、各県を中央政府の支配下に置きました。ラーマ五世は自ら文武官吏の長となって貴族政治から離れた絶対王政をほぼ完全に実現しました。タイ三大王のうちの一人で、

今でも国民から人気が高く、肖像画が首飾りやポスターになったり、像が仏壇に置かれたりしています。

日本とシャムは開国、西洋文明を受け入れて植民地化を免れた歴史があります。伝統的なラーマ四世の弾丸型銀貨を手に持ち、シャムの苦闘の歴史に触れてみるのをお勧めします。

幹事報告

1) ☆他クラブニュース 例会変更のお知らせ

- 高 砂RC ◇5/2(金)休会〔定款第7条第1節(d)〕
◇5/9(金)休会〔定款第7条第1節(d)〕
- 高砂青松RC ◇5/7(水)休会〔定款第7条第1節(d)〕
- 加古川平成RC ◇5/2(金)例会取消〔定款第7条第1節(d)〕
◇5/23(金)例会取消〔定款第7条第1節(d)〕
◇5/30(金)例会取消〔定款第7条第1節(d)〕

2) BOX にロータリーの友、ガバナー月信を入れております。

3) 米山梅吉記念館館報春号、柏原ローターアクトクラブ10周年記念事業の案内、加古川市国際交流協会より令和6年度加古川市青少年海外派遣報告書が届きましたので回覧いたします。

4) 昨日、第4期会費請求書を発送いたしましたので、月末までにお振込みいただきますようお願い申し上げます。

次年度第1回理事会

2025年4月8日(火)午後6時～
於:東京田村

《審議事項》

1) RIテーマ及び会長方針の説明

次年度松尾会長から RI テーマ及び会長方針の説明があった。
原案通り承認。

2) 組織表に関する件

原案通り承認。

3) 年間行事予定に関する件

原案通り承認。

4) 出席免除申請に関する件

原案通り承認。

5) はぐるまの家年会費納入に関する件

例年通り第1期分会費請求(7月)と一緒に3,000円集めることで承認。
個人にも支払依頼が郵送されますが、
クラブで負担済みであることをお知らせする。

6) 助成金・協賛金・広告等年間歳出金に関する件

原案通り承認。

ニコニコ



- 省 略 ☺ 浅井会員、ヤクルト売りにおいでよ。
- 省 略 ☺ 穴田会員、卓話たのしみです。
- 省 略 ☺ 浅井会員、短い期間でしたがいろいろとありがとうございました。
- 省 略 ☺ 本日の卓話、急な依頼にもかかわらず
お引き受けありがとうございます。楽しみにしております。
- 省 略 ☺ 金田会員、SAA大役お疲れさま！
- 省 略 ☺ 穴田さん、本日の卓話よろしくお願いします。
- 省 略 ☺ 穴田会員、本日の卓話楽しみにしています。
- 省 略 ☺ 穴田会員、卓話楽しみです！
- 省 略 ☺ 穴田会員、卓話楽しみです。がんばって下さい。
- 省 略 ☺ 穴田会員、本日の卓話楽しみです。
- 省 略 ☺ 穴田さん、卓話楽しみにしています。
- 省 略 ☺ 本日色々ありますが、卓話よろしくお願いします。
- 省 略 ☺ 浅井会員、大変お世話になりありがとうございました。
新天地でのご活躍をご祈念しております。
- 省 略 ☺ 本日司会代行頑張ります！ 穴田会員、卓話楽しみです！
- 省 略 ☺ 大変お世話になりありがとうございました。
- 省 略 ☺ お花いただきます。

以上16件 ¥19,000-
本年度累計¥1,803,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数71名 出席35名 出席免除14名 欠席22名
- ☆ 欠 席 者 省略
- ☆ 前 々 週 会員数70名 出席47名 出席免除10名 欠席13名

親睦活動委員会

例会場当番

4月8日(火) 桑田純・衣笠
4月15日(火) 高見・鈴木



プログラム委員会

本日4月8日(火)	4月15日(火)	4月22日(火)	4月29日(火)
卓話 「私のアナザースカイ」 穴田会員担当	次年度委員会 I	次年度委員会 II	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)(1)]

来る 2025 年ロータリー国際大会でノーベル賞受賞者が講演

平和と女性の権利を推進するイエメンのジャーナリスト、タワックル・カルマンさんが登壇

文: Etelka Lehoczky

アラブ世界出身で初めてノーベル平和賞を受賞したタワックル・カルマンさんが、6 月 21 日~25 日にカルガリー（カナダ）で開催される 2025 年ロータリー国際大会で講演します。民主主義と女性の権利拡大を支持する活動を行ってきたカルマンさんは、度重なる迫害と投獄に耐えてきました。

2011 年ノーベル賞受賞者を発表したノルウェー・ノーベル賞委員会のトルビョルン・ヤグラン委員長は、カルマンさんについて次のように述べています。「アラブの春以前、そしてその最中における最も厳しい状況下で、カルマン氏はイエメンにおける女性の権利と民主主義のために主導的な役割を果たしてきました」。カルマンさんは、エレン・ジョンソン・サーリーフさん、レイマ・ボウイさんと共にノーベル平和賞を受賞しました。



ジャーナリストであり人権活動家でもあるカルマンさんは、2007 年から 2011 年にかけて、イエメンのアリー・アブドゥラー・サーレハ大統領の圧政に対して数多くの抗議活動を組織し、「革命の母」や「鉄の女」という異名を得ました。2005 年には「束縛のない女性ジャーナリスト（Women Journalists Without Chains）」という組織を設立し、ジャーナリストの育成、メディアの自由を守る活動、女性の権利の促進に取り組んできました。

2023 年のミュンヘン安全保障会議で、カルマンさんはこう述べています。「『女性の権利』とは、民主主義、表現の自由、統治者を選ぶ自由を意味します」。また、西側諸国の政府が中東における反革命運動を支援していることが、同地域の民主化運動を弱体化させていることを指摘しました。

カルマンさんは平和革命青年評議会（Peaceful Revolutionary Youth Council）も設立しており、2010 年代初頭のアラブの春運動の際には、暴力ではなく平和的な対話を呼びかけ、シーア派とスンニ派のイスラム教徒の和解に尽力しました。イスラム教はほかの宗教と平和的に共存すべきであり、女性が社会のあらゆる分野で積極的に参加するうえでイスラム教は障害にはならないと信じています。

カルマンさんは、『TIME』誌の「歴史上最も反抗的な女性」17 人のリストに名を連ね、2011 年には「Women of the Year」（今年女性）100 人にも選ばれました。『Foreign Policy』誌では「世界の思想家トップ 100」に選ばれています。さらに、タワックル・カルマン財団を通じてイエメンで学校の建設、貧困との闘い、医療支援など、多岐にわたる社会貢献活動を行っています。

今大会の講演者ラインアップから、もう一人ご紹介します：

スコット・サイモン（米国公共ラジオ放送司会者）

サイモンさんは、米国公共ラジオ放送（NPR）の「ウィークエンド・エディション・サタデー」と朝のニュースポッドキャストの司会者として知られています。5 大陸で取材を行い、ピーボディ賞やエミー賞など、米国の放送業界で主要な賞を数多く受賞してきました。彼のエッセイは「一貫して思慮深く、優雅で、挑戦的」と評され、ピーボディ特別賞も受賞しています。

これまでに 10 回の戦争を報道し、特にエチオピア内戦と飢餓に関する報道で大統領飢餓撲滅賞を受賞しました。また、PBS（米国公共放送サービス）の特別番組の司会を務め、BBC と共同で PBS の報道番組「ミレニアム 2000」の共同司会を務めました。さらに、BBC では「Eyewitness」シリーズや米国報道陣特集の司会を担当しました。著書には、ニューヨーク・タイムズ紙のベストセラーとなった『Unforgettable: A Son, a Mother, and the Lessons of a Lifetime』のほか、『Baby, We Were Meant for Each Other』をはじめ、『Home and Away: Memoir of a Fan』、小説『Pretty Birds』、『Windy City』などがあります。名誉学位も数多く授与されています。

— 2025 年 3 月